

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		新型コロナウイルス感染症対策事業費 [新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費	事業番号	13
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育		課		管理・給付		係		課長名	関田 孝志	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書 (ページ)	59		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 保育事業を行う施設(延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業、保育所事業、地域型保育事業所、認証保育所事業、認可外保育施設事業等。利用者支援事業は直接補助)				→				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象施設数		
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に要する費用を補助し、安全な保育環境を提供していただく。				→				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 交付決定を行った施設数		
	③ そのために何をしましたか。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に要した品目・費用を確認し、1事業50万円を上限として交付した。				→				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 交付決定を行い、補助金を入金した施設数		
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標		
	対象指標	①の数値	施設			27					
	成果指標	②の数値	施設			20.0					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	19,353,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円			0					
		特定財源(国・都・他)	円			19,353,000					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.6					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円			8,380,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	0	0	27,733,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		令和2 年度								
	(2) 環境の変化 令和2年度開始。										

事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業費 [新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金]			
担当部署・課長名	保育	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☐ 取り組んだ	取組手法：
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
令和3年度も実施するのであれば、提出を求める書類は請求書・領収書に絞るなど精査したい。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
施策名： 児童福祉の推進		
☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 令和3年度の実施については、国及び都の動向を注視したい。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	